標題

オランダ籍船舶の持運び式消火器の定期的な保守・点検および試験について

ClassNK
テクニカル
インフォメーション

No. TEC-0610
発行日 2004 年 12 月 3 日

各位

今般、オランダ政府より持運び式消火器の定期的な保守・点検および試験の要件に関して、IMO Res. A. 951(23)に従うよう通知がありましたので、以下の通りお知らせいたします。

持運び式消火器の定期的な保守・点検および試験

1. 消火器は製造者のインストラクションに従い定期的に点検を行うこと。また、期間は 1 年を超えてはならない。
2. 本船上に保管されている同型式および同年に製造された消火器の内、少なくとも 1 台は 5 年ごとに防火操練の一環として放出試験を行うこと。
3. すべての消火器(起動用ガス容器を含む)は 10 年を超えない期間で承認された規格または製造者のインストラクションに従い水圧試験を行うこと。なお、試験圧力は消火器に記載されている値、あるいは最大作動圧力の 1.5 倍以上の値とする。
4. 整備および点検の詳細は添付の点検指針に従う。年次点検は上級船員にて行うことで差し支えないが、5 年ごとおよび 10 年ごとの試験および点検は整備事業所にて行うこと。
5. 点検記録を適切に整備すること。記録には点検・保守の日付、内容および耐圧試験を実施したか否かを明記すること。
6. 消火器には放出したことが判別可能な表示をすること。
7. 消火器再充填のためのインストラクションを製造者より取得し、本船上に利用可能な状態で保管すること。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

財団法人 日本海事協会 (ClassNK)
本部 管理センター 検査技術部
住所: 東京都千代田区紀尾井町 4-7(郵便番号 102-8567)
Tel.: 03-5226-2027 / 2028
Fax: 03-5226-2029
E-mail: svd@classnk.or.jp

添付:

1. 点検指針

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

ClassNK テクニカル・インフォメーション No. TEC-0610
添付 1.

点検指針

年次点検	
安全クリップおよび表示装置	消火器の作動確認
圧力表示装置	装着されている場合、圧力が適正範囲にあることを確認。塵除けカバーおよび安全弁が適切に配置されていることの点検。
外観検査	消火器の安全操作に影響する腐食、変形、損傷に対する点検。
重量	消火器の重量確認および完全に充填された消火器との重量比較。
ホースおよびノズル	ホースおよびノズルに汚損がないことの点検
操作指示	操作指示が適切に配置されていることおよび判読可能なことの確認
再充填時点検	
水および泡原液の充填	再利用する場合は内容物を清潔な容器に移し、再利用に適しているかを点検。充填容器の点検。
粉末	粉末消火剤再利用のための検査。十分に乾燥しており、凝結した塊或いは異物の混入がないことの確認。
起動用ガス容器	損傷および腐食の検査。
5 年および 10 年目の点検	
放出試験後の点検	
気道および作動装置	キャップの送気口および送気部までを通気することにより、気道に障害がないことを検証する。ホース、ノズル ストレーナー、放出管および呼吸弁を適切に点検する。必要に応じ、清掃および注油を行う。
作動装置	安全ピンが取外し可能であり、レバーに損傷がないことの点検。
起動用ガス容器	損傷および腐食の検査および規定範囲内にあることを確認するための重量計測。
O リング座金およびホース封板	O リングの点検および装着されている場合ホース封板の交換。
水および泡容器	内部点検。腐食およびライニング劣化の確認。個々の容器の漏れおよび損傷を確認。
粉末容器	本体検査。腐食およびライニング劣化のための内部点検。
再充填後の点検	
水および泡	製造者指示書に従った内容物の交換。
再組立	製造者指示書に従った再組立。
銘板の管理	総重量を含む保守銘板への記入。
消火器の取り付け	取り付け金具の点検。
報告	消火器保守に関する記録の完備。